

ようこそ学生相談支援室へ

学生相談支援室から

学生相談支援室長 田村 理恵

皆さん、こんにちは。今回は学生相談支援室の利用についてご案内したいと思います。まず、学生相談支援室は楽信館にあります。窓口は保健室です。でも、保健室で相談をするわけではありません。保健室は多くの人が入り来りますので、実際に相談を受ける部屋は静かな2階にあります。ゆっくり落ち着いて話ができます。

【相談の流れとスタッフ】

相談がある時は、このページの下にある電話やメールなどから連絡して下さい。まずは、学生相談支援室の常駐スタッフが相談内容から、どの専門の先生と会ってもらうかを考えます。

ここで、スタッフの紹介をします。まず、学校に常駐しているスタッフは保健室の看護師さんたちと教員です。教員は室長と内部相談員がいます。現在は一般科目社会の田村と体育の武田先生です。また、長年本校に勤務されていた先生も相談に乗ってくれます。この方は主に学業面での相談を受け持たれています。それとは別に外部から来てもらっている専門家もいます。心の専門家である臨床心理士2名がスクールカウンセラーとして来てくださっています。また、福祉の観点から問題解決を目指す社会福祉士であるスクールソーシャルワーカーも1名、定期的に来校してもらい、学生や保護者の相談にのってもらっています。思ったより多くのスタッフがいるなと思ったのではないのでしょうか。なので、誰に相談するかというより、どんな相談があるかをまずは、窓口で話してもらえるといいと思います。

それから、日程調整に入ります。残念ながら、専門家の先生たちは毎日学校にいらっしゃっているわけではありませんので、先生方の来校スケジュールと、みなさんの日程を合わせます。みなさんも授業や部活がありますので、すぐに面談を組めない場合もあります。なので、可能であれば、早めに連絡してもらえるといいなと思っています。実は授業があっても相談は受けられて、その時間は公欠になります。授業は大切ですが、悩みを抱えたままだと授業に集中できないこともありますので、その場合は、授業より

カウンセリングを優先した方がいいと思います。

【学生からの相談】

進路相談、生活習慣の問題（朝起きられない、授業に集中できない、ゲームやSNSに依存している気がする、夜更かししてしまう）、学校に関する問題（レポート、課題にうまく取り組めない、寮での生活、部活や学生会活動）、人間関係（学校内外問わず）なんでも相談してください。現在では、Teamsを使ったオンラインでの相談も受けています。他の人に話を聞いてもらうだけでも気が楽になることがありますか？それも専門家に話を聞いてもらえるのです。悩んだ時には気軽に学生相談支援室に連絡して下さい。

学生相談支援室では「こころと体の健康調査」や「学校適応感尺度調査」も行っています。気になることはそこに書いて貰えば、こちらから連絡させていただきます。とはいえ、直接連絡を取ってもらうのが一番早く確実です。

【保護者からの相談】

学生相談支援室という名称ですが、対象は学生だけではありません。学生に関する相談を保護者の皆様からも受け付けています。「最近、子どもがあまり話をしてくれなくなった」「ゲームばかりしているので、心配」「進路について親子で意見が違っている」など、どのような相談でも遠慮なく学生相談支援室をご利用ください。

ご自宅が遠い場合でも、学生と同様、オンラインでの相談も受け付けています。本校は高等専門学校という、基本的に各県に1校しか設置されていない学校です。学校の仕組みも高校や大学とは違います。そのため、簡単に地域の人や親戚に相談しにくい、事情をわかってもらえないという事もあるかと思います。そのような時には、ぜひ学校にご相談ください。高専という学校の仕組みをわかった心の専門家、福祉の専門家をご相談に応じます。皆様からの相談をお待ちしています。

学生相談室の利用について

相談の申込は以下の方法で受け付けています。

- ・直接スタッフへ：田村室長、武田相談員、看護師に声をかけてください。
 - ・電話による申込：0986-47-1156（保健室）
 - ・Eメールによる申込：soudan@cc.miyakonojo-nct.ac.jp
- 悩み多い学生生活です、誰かに聞いてもらうだけでも気持ちが楽になりますよ。相談内容の秘密は厳重に守ります。安心して相談に来てください。待ってます。

相談室の場所はこちら

